

今年度第5号のメールマガジンをお届けします。
受験を控えた中学生へ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝え
しますので、ご活用ください。

公立高校ガイドブック、前期選抜入試に必要な志願理由書、平成26年度宮城
県公立高等学校入学者選抜一覧などの情報は、上記の高校教育課のホームページ
を御覧ください。

〈それぞれの公立高校ホームページはこちらから〉
⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyouiku/koukou.html>

■ もくじ ■

- 1 平成26年度入試に向けた公立高校情報の提供について
(1) 公立高校文化祭日程一覧
- 2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）
 - (1) 石巻工業高等学校
〈石工祭での部活動発表〉
 - (2) 白石工業高等学校
〈インターンシップ（就業体験）への取り組みについて〉
 - (3) 松島高等学校
〈「おもてなしの心」観光ビジネスコース ホテル実習〉
- 3 学校紹介スペシャル
 - (1) 仙台二華中学校・高等学校
〈実りの秋へ向けて〉
 - (2) 仙台南山高等学校
〈丘に上ろう〉
 - (3) 涌谷高等学校
〈★-Break the Limit-限界を超えろ★〉
- 4 コラム（各高等学校からの情報）
 - (1) 村田高等学校 主幹教諭 新田弘
〈夏季休業を終えて〉
 - (2) 宮城広瀬高等学校
〈而立〉
 - (3) 水産高等学校 教諭 平居 高志
〈 ヒラメの成長はおもしろ〜い！！・・・栽培実習場の今 〉
- 5 お知らせ（各高等学校からの情報）
 - (1) 柴田農林高等学校
〈お知らせ〉
 - (2) 泉松陵高等学校
〈第2回学校説明会のお知らせ〉
- 6 編集後記

■ 1 平成26年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□ (1) 公立高校文化祭日程一覧

今年もすでに公立高校の半数以上の学校で文化祭が開催されました。
今後は10月に開催される学校が多くなります。是非足を運んでみて下さい。
生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各
学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。普段の学習生活だけではない、校
内での活動を知る絶好の機会です。
高校教育課のホームページに、開催日時の一覧を掲載しています。

→ くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/site/sub-jigyuu/gak-schoolinfo-inndex.html>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高등학교の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□ (1) 石巻工業高等学校 ＜石工祭での部活動発表＞

本校では各工業分野の部活動が大変活発です。10月19日(日)に開催される石工祭において、成果発表や実演・体験などを実施します。

電気部では、工作班とPC班があり、工作班では、電磁砲やマリオカート(電気自動車)の製作を行っています。PC班では、スマートフォンやタブレット機器のアプリ製作に取り組んでいます。これまでに、風船割りゲームなどのミニゲームをいくつか作りあげました。

石工祭当日は、工作班ではマリオカートの試乗会、PC班では来ていただいたお客様をゲームのキャラクターにし、オリジナルミニゲームを製作してプレゼントいたします(Android端末に限る)。

機械制御科では授業で製作しているコンロの販売を行います。ぜひお越しください。

□ (2) 白石工業高等学校 ＜インターンシップ(就業体験)への取り組みについて＞

本校のインターンシップ(就業体験)への取り組みは、平成20年度に始まりました。仙南および仙台地域の企業の皆様にご協力をいただき、また、NPO法人仙南広域工業会様、みやぎ工業会様、大河原地方振興事務所様のお力添えをいただきまして実現した次第です。参加生徒数は初年度28名でしたが、平成21年度は99名、平成22年度は156名、平成23年度は177名と参加者数を増やしてきました。そして昨年度2年生全員(234名)が参加するに至りました。今年度も233名と、ほぼ全員の生徒が参加することとなり、ご協力いただきます企業様は78社となりました。実施につきましては、5学科(機械科、電気科、建築科、工業化学科、設備工業科)と進路指導部で担当する企業を分け、生徒を学科の枠にとらわれずに指導・支援している学科間連携が本校の大きな特色です。また、インターンシップの「事後のまとめ」にも力を入れ、お世話になりました企業様にもご案内し、10月に「インターンシップ全体報告会」を実施する予定です。報告会には、来年度の事前指導の一環として現1年生も参加します。例年、生徒たちはインターンシップへの参加により実社会に触れ、職業観、進路意識、および専門技術の習得への意欲を高めております。

□ (3) 松島高等学校 ＜「おもてなしの心」 観光ビジネスコース ホテル実習＞

松島高校では来年度より観光科(仮称)が設置され、観光産業はもとより他の産業界からも大きな期待を寄せられています。今年度はその先取りとして観光ビジネスコースがその活動を担っています。「観光」とは光を観ると書かれている様に、生徒の夢を実現するための活動を主に行っていきます。

生徒たちは先ごろ教室を離れ、2週間ホテル実習を行ってきました。実際に従業員の方々と同じ業務に携わり、客室の清掃や朝食・夕食の準備、お客様のお出迎えにお見送り、お部屋への案内など、他では体験できない経験を積んできました。この実習は全国的にも松島高校だけです。学校では学ぶことが出来ない接客サービスの基礎基本をしっかりと身につける事ができました。また、ホテルは年齢や性別、職業や国籍にいたるまで様々な方々と交流することができる場でもあり、コミュニケーション能力を高めるにふさわしい学習の場でもありました。

この実習では多くのお客様に大変喜ばれました。「ありがとう。また来ます。」の一言を受けた時の生徒の充実感と満足感に繋がり、進路実現に向けての大きな励みになっています。彼らはコミュニケーション能力とおもてなしの心をしっかりと身につける事ができました。

→ くわしくはこちら> <http://www.matsushima-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ (1) 仙台二華中学校・高等学校

<実りの秋へ向けて>

受験生の皆さん、こんにちは。仙台二華高校です。8月に行われたオープンスクールや先日開催した文化祭には、たくさんの方々にご来場いただき本当にありがとうございました。さて、季節は秋を迎えようとしています。今、仙台二華高校ではどんなことが行われているのか、ちょっとご紹介いたします。

まず高校1年生は今月下旬に「八幡平巡検」を実施します。これは総合学習の一環で、私たちを取り巻く自然環境について学習を深めるために行います。「世界の水問題」をテーマに、米内浄水場、内水面水産技術センター、旧松尾銅山新中和処理施設等で見学、聴講し、自ら考えることで、これからの水資源との関わり方や私たちなりの改善策を探っていきます。

一方、高校2年生は11月に実施する海外研修旅行の準備に大忙しです。様々な民族的、文化的な違いを持った人々が調和し合いながら1つの国を形成しているシンガポールで、グローバルな視点から数多くのことを学ぶことができます。この秋、学習にも緒活動にも大きな実りを迎える仙台二華高校です。

□ (2) 仙台南山高等学校
< 丘に上ろう >

緑豊かな丘の上にある本校の魅力をおおきく4つ紹介します。まずは「普通科と理数科を併置」していること、次に目が届きやすい「1学年200人の学校規模」、さらに「向陵プラン」という独自の進学プラン、最後に「仙台随一の眺望と緑豊かな」教育環境です。

また、本校は「豊かな人間を育てる」ことを教育目標に掲げています。「豊か」とは、知性・教養の豊かさ、心の豊かさ、実践力の豊かさです。つまり、知と心と体のバランスの取れた人間性を育み、その上に豊かな個性と創造性を育むことを目指しています。この目標を達成するために、本校では授業、学校行事、進路指導、部活動など様々な教育活動を系統的、効果的に組み立て、日々の取組の中で生徒一人一人に未来を拓く力を育てています。

学習面では「豊かで質の高い学び」を提供できるよう教職員一同努力を重ねています。次に進路指導ですが、小規模校ならではの生徒一人一人の「名前入り」のきめ細かな進路指導を行っています。最後に生活です。本校の大きな学校行事は、体育大会、向陵祭、強歩大会の3つです。それに加え、春と秋には中庭コンサートが開かれます。どの行事も生徒が主体となって創り上げ、大いに盛り上がります。また、部活動の今年度の実績はテニス部女子のインターハイ、水泳部の東北大会、放送部の全国大会、吹奏楽部の東北大会出場となっており、活躍がめざましいです。本校への長い坂を上るのには少し大変ですが、向陵の地にはその大変さ以上の価値があると自負しています。この坂を上らなければ見えないもの、得られないものがあります。皆さんも丘の上ってみませんか。

<ホームページはこちら> <http://mukaiyama.myswan.ne.jp/>

□ (3) 涌谷高等学校
<★Break the limit- 限界を超えろ ★>

<学校の概要について>

涌谷高校は1919(大正8)年に遠田郡立涌谷実科高等女学校として創立され、今年で94年目を迎える学校です。「質実・勤敏 謙謙・優雅 自律・協同」の校訓のもと、現在は普通科各学年4クラスで、約440名の生徒が進路実現や自分自身の可能性を追い求めて、学習、部活動、ボランティア活動などに励んでいます。

<教育課程の特色>

多様な学力を有し、心身共に健全で調和の取れた人間形成のために、教育課程には次の様な特徴があります。

- 1・2年次には基礎科目を多く取り入れ、幅広い教養と実力の養成を目指します。
- 進路実現に向け、2年次から進路に合わせた選択科目を導入し、3年次には類型に分かれます。その中でも進路希望に合わせた科目が選択できます。

<学力の充実に向けて>

涌谷高校では、日常の50分×6コマの授業に加え、基礎学力の養成と学習習慣の確立を目的として「栄冠トレ」を実施しています。これは「栄=英単語」と「冠=漢字」について、週間課題や週末課題と朝学習の小テストなどを組み合わせて実力養成し、年間2回ある「栄冠検定」でその実力を確認するという取組です。また学力の養成に向けて、外部講師などを活用した「強化勉強会」、進路対策のための課外講習などを実施し「学ぶ意欲」をサポートします。

<高校生活の充実に向けて>

涌谷高校は、部活動も盛んです。運動部では昨年、男子新体操部が個人で全国高校総体に出場しました。また全国高校総体優勝経験のある女子ハンドボール部、昨年の県高校総体と県新人大会でベスト8になった女子ソフトボール部など実力ある部活動がそろっています。文化部も、今年全国高校総合文化祭に作品を出展した書道部、平成22年、23年と2年連続で東日本学校吹奏楽大会(全国大会)に出場した音楽部など活動が盛んです。

<インターンシップやボランティア活動などの社会体験活動について>

涌谷高校では「総合的な学習の時間」の中で職業体験(インターンシップ)や上級学校の模擬講義などが行われ、自分の進路を考えるとともに、社会の中での生き方や在り方を考える取組が行われています。また、生徒会を中心にした「涌

高ふれあい隊」をはじめ多くの生徒が、地域のボランティア活動に取り組んでいます。
→ホームページはこちら><http://www.wakuya-h.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ (1) 村田高等学校 主幹教諭 新田 弘 < 夏季休業を終えて >

この夏の間、村田高校は学習、部活、実習など様々な場で、活動しました。7月31日(水)に開催された1日体験入学には、中学生とその保護者の方々が200名も来校し、商業科目の情報処理の実習、介護福祉科目のベッドメイキングの自習、工業科目の自動車(新車)の分解組立、「英語」のコンピュータによる語学実習、「理科」のDNA抽出の実験等を体験いただきました。来年度の志望校選択に役立てていただけることを願っています。
また、8月1日～2日に行われた「高校生ものづくり東北大会・自動車整備部門」において3年の生徒が2位入賞を果たし、本校のものづくりの技術の高さをアピールしてくれました。その他たくさんの方々が夏季休業中にもかかわらず講習会、強化勉強会、公務員講座等に参加し、一生懸命学習していました。特に3年生は3日設けられている出校日以外にも休み返上で多くの生徒が、進路相談、学習にと連日学校に来ました。暑い夏の中のこの努力が糧となり、秋に大きく実ることを信じています。

□ (2) 宮城広瀬高等学校 コラム < 而立 >

昨年、本校は人間でいえば「而立」(『論語』30歳)という節目の年を迎えていました。それは、「宮城広瀬高等学校」のあり方について確固たるものが築きあげられていなければならない、ということでした。そういう視点で考えてみると「学習面での頑張りとともに部活動やボランティア活動で頑張る生徒が多くいる学校」と言えます。本校では運動部とともに、文化部も活躍しています。文化部の活躍は、マスコミ等で報道される機会が少なく、あまり知られていませんので紹介します。
放送部が昨年に続き、「NHK 全国高校放送コンテスト ラジオドキュメント部門」(全国大会)に出場し、「制作奨励賞」を受賞しました。先輩から受け継がれたものを、さらに伝統とすべく毎日の活動に精進した結果です。
放送部については、宮城県大会で「アナウンス部門」で優良賞、朗読部門で「入選」という結果を残しました。また、伝統の写真部は「全日本写真展2013」において上位に4名が選ばれております。10月以降、それぞれの作品に順位が付けられますので、分かり次第お知らせします。

□ (3) 水産高等学校 教諭 平居 高志 < ヒラメの成長はおもしろ〜い!!・・・栽培実習場の今 >

万石浦に面して建つ栽培実習場の最近の姿について報告したいと思います。
海に面しているとはいえ、内海であるために津波の影響をほとんど受けなかった栽培実習場ですが、地震の揺れによる配管の破損などで、長く使用不能の状況に陥っていました。海水取水ポンプが復旧したのは、震災から2年あまりを経た今春でした。

ところが、そこで魚を飼うのは容易ではありません。2年以上にわたって魚介類を孵化させることも出来ておらず、水槽で飼える状態の魚を獲ってくるのも難しかったからです。魚の姿をたくさん見ることが出来るようになったのは、それから更に2ヶ月を経てからのことです。

現在は、震災後に実習場で孵化させたウニやナマコも大きくなってきました。6月には、青森県八戸市の青森県栽培漁業振興協会から送ってもらった受精卵を使ってヒラメを孵化させました。卵がうまく孵化するためには、卵が水中に漂っている必要があります。ところが、最初、卵は水槽の底に沈殿してしまいました。これで孵化しません。いろいろと原因を探したところ、卵を採った八戸の海と、石巻・万石浦では塩分濃度が微妙に(1000分の2くらい)違っていたそうです。たったそれだけの違いで、卵は孵化できないものなのです。自然というもののデリカシーにはびっくり!です。

ヒラメという魚は、生まれた時には、他の魚と同じように目が左右にあって、体の形も扁平ではなく、水中を泳ぎ回っています。それが、2~3週間でだんだん目が左側に寄り始め、体の形も次第に扁平となって、1ヶ月あまりのうちに私たちが知っているヒラメの形になり、やがて水底にじっとするようになります。ヒラメはその生涯で、魚としての進化の歴史を追体験するようです。面白いものですね。

震災前、実習場の水槽には、40~50センチのヒラメが飼われていましたが、震災後、ポンプの破損で水質が悪化し、全て死んでしまいました。今夏孵化させた

ヒラメが、そのような大きく立派なヒラメになるのはいつなのでしょう？

他にも、元気なボラの稚魚、ヨウジウオ、タツノオトシゴといった不思議な魚、ハゼやアイナメといったのっそりとした底魚など、いろいろな魚を見ることが出来ます。

宮水は11月9日(土)にオープンキャンパスを開催します。中学生は体験授業、大人の方には同じ時間帯にキャンパス見学会を実施します。栽培実習場を見るチャンスです。来春宮水を受ける予定の人もそうではない人も、子どもも大人も、ぜひ、今書いたような魚たちに会いに来て下さい。

■ 5 お知らせ ■

高等学校からのさまざまなお知らせのコーナーです。

□ (1) 柴田農林高校 <お知らせ>

柴農では10月19日(土)に柴農祭(一般公開10:00~14:00)、26日(土)に学校説明会(9:00~最終受付12:00)を開催します。

今年度の柴農祭のテーマは「Light of hope ~夢と希望にあふれた未来」です。私たちの夢が現実になり、希望にあふれた未来にしたい、そして私たちの夢に自信を持って進もうという思いを込めています。

各学科における専門科目学習内容の展示・実演だけでなく、各学科が栽培、加工した農産物を販売いたします。また、各文化部活動の発表・展示・実演やクラスごとのジャンボクラスTシャツの対抗製作や出展・展示などもあります。農業高校ならではの催しですので中学生だけでなく、多くのみなさまのお越しをお待ちしております。

学校説明会では、柴農全体の説明だけでなく、農場案内や学科ごとの個別相談会も行います。合同説明会や体験入学に参加した中学生でさらに詳しく柴農のことを知りたい人はもちろん、参加できなかった人も是非参加してください。

詳しくは、本校ホームページをご覧ください。

→(ホームページはこちら) <http://www.sibano.myswan.ne.jp/>

(携帯電話からも同じアドレスでご覧いただけます)

(ツイッターもはじめました) アカウント @sibano1908

(<http://twitter.com/sibano1908>でもご覧いただけます)

□ (2) 泉松陵高等学校 <第2回学校説明会のお知らせ>

泉松陵高校に興味のある中学生の皆さんへの朗報です!

今月末にイズミティ21にて学校説明会があります。

本校の学校説明会は年に2回行っていますが、今回の説明会が今年度最後になります。

前回参加できなかった皆さんはもちろんのこと、もう一度聞いてみたいことがある皆さん、この機会に説明会に足を運んでみませんか?

迷っている人は是非!このチャンスを逃さずに!

◆泉松陵高校学校説明会 日程

9月25日(水) 場所 イズミティ21 展示室

・受付 18:00~18:30

・説明会 18:30~19:30

主な内容

生徒会活動・学校行事・部活動紹介・教育課程・進路状況・入試など

*最後に質問ブースを設置します。

疑問点などある人は遠慮なく高校の先生に聞いてみましょう

詳しくはホームページをご覧ください。

→<ホームページはこちら> <http://www.shoryo.myswan.ne.jp/>

■ 5 編集後記 ■

少しずつ秋らしい天候になってきました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、生活のリズムを崩さないように気を付けて下さい。

さて、多くの高校で開催されたオープンキャンパスもほとんどが終了しました。いろいろな情報を得ることが出来たと思います。しかし、それを活用するのは自分自身ですので、高校入試に向けて後悔のない時間を過ごすことを願っております。これからも各高校の様々な情報をできる限りお伝えしたいと考えておりますので、「高校教育課 情報メール」をよろしく願います!

◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課
〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1
TEL：022-211-3626／FAX：022-211-3696
